

です。またポリオの撲滅問題の状況ですが、1985年には125カ国ありましたが2006年度には4カ国とだいぶ少なくなりました。ポリオ撲滅のために2億ドルの資金が必要ですが、約1億ドルは財団から補助金を提供して頂けるので、3年間で各クラブ1,000ドルの目標を達成したいと思います。各ロータリーの人数などを考慮し、年間会員一人当たりにつき12,000円のご協力を頂きたいと思っております。

ロータリーの仕組み、クラブ奉仕については、樹に喩えるならば、「根」はクラブ奉仕、「幹」は職業奉仕、「枝と葉」は社会奉仕、国際奉仕、「花」はロータリー財団となります。それぞれの委員会が機能し、みなさんのご協力を得て2008年度はロータリー財団の花を咲かせたいと思っております。ご協力お願い致します。

もう1つロータリーが地域に浸透しているのかという話では、アメリカ、ヨーロッパでは非常に知名度が高いのですが、日本では50%、50.1%が聞いた事がない、16.9%はわからない、実際に聞いた事があるのは32.9%位という事です。したがってロータリーとはなんぞやというような状態です。内輪だけでなく職業を通してロータリーのあり方、PRをしてほしいとのことでした。

今後、新会長としてクラブテーマを「和」にしたいと思っております。会員、家族、友の和、和があってこそ親睦が図れ、成り立つのではないかと思います。その中にロータリーの出発点があり親睦が大事であろうと思われれます。次年度の方針として例会の形を検討していますが、月々一回は夜会にしてはと思っています。親睦委員長はじめプログラムを作成するときに計画をお願いしたいと思います。

会員の増強においてもみなさんにご協力を頂き悲願の50名を達成したいです。来年1年間みなさんご協力よろしくお願いします。

<幹事エレクト報告> 北島幹事エレクト

4名のリーダー、サブリーダーによって4項目の話がありました。

幹事の任務は会長と意思疎通を図った上で事務最高責任者の自覚で行動してほしいという事です。任期が単年度なのでつい事務局員にたよりがちになってしまう傾向があるので気を付けて欲しいとのことでした。ガバナー方針は会員力の増強です。新世代育成ではライラに目を向けて強化してほしい、後は例年どおりの形で進むとのことでした。

ガバナー補佐との公式訪問の話ですが2002年、2003年度から導入されているガバナー補佐の制度がこのところ定着し、実際に運営されているとありました。次年度の公式訪問の日程は10月7日に決まっているとのことなので、その2週間前にこちらに来ていただいて、ここでクラブ協議会を行い10月7日に公式に迎えるという形になります。

地区予算と送金のカレンダーについては全て例年通りで、目標額も同じです。今回は懇親会まで参加し、おいしいお酒を飲み「手に手をつないで」を歌って帰ってきました。勉強不足で至らない点があるかと思いますが、ロータリーの友情と来年度テーマの「和」で1年間よろしくお願い致します。

<クラブ奉仕報告> 安藤登会員

大須賀パストガバナーは、クラブ奉仕とはロータリーの原点、各委員会の議案や重要な問題を理事役員会にかけける役割を担い、各委員会を熟知し、バランス良く調整をして行く役割があると説明をしました。

ロータリー情報ですが、手続要覧の更新は3年に1度なので、その間の新情報はインターネットで検索して下さい。

会員増強と退会防止については、以前80名以上会員がいたクラブの例を取り上げ、入会を待たせたりしていた所、いつの間にか会員は43名に減少し、会計、会場経費なども問題となり、会員増強に対しての分類の見直しなどをしましたが会員増強に繋がらず現在では39名だそうです。やはり全員が危機感を持って取り組むようにとのお話がありました。

クラブ奉仕と親睦活動については、今までのロータリーに関する文章、ポールハリス氏の言葉を抜粋し紹介されました。

質疑応答の中で、他のクラブの問題を聞いていると、百合丘ロータリークラブは若年からシニアまでバランスよく会員が在籍していると思われました。しかし、理想を言うのとあと5名の入会があれば最高だと思います。

